

## 八王子市教育委員会 殿

学校名 八王子市立元八王子中学校  
校長名 東内 竜吾 公印

## 令和8年度教育課程について（届）

このことについて、八王子市立学校の管理運営に関する規則により、学校教育法施行規則第138条の規定に基づく特別支援学級（知的障害）の教育課程を下記のとおりお届けします。

## 記

## 1 教育目標

## (1) 学校の教育目標

日本国憲法及び教育基本法を基調とし、人権尊重の精神に富み、郷土を愛するとともに、国際社会の変化に対応できる確かな学力と豊かな人間性、社会性をそなえ、たくましく生きる生徒の育成を図る。

- 学ぶ心 【知】
- 自主の心 【徳】
- ◎ 思いやりの心 【徳】

## (2) 特別支援学級の教育目標

元八王子中学校の教育目標を踏まえ、生徒一人ひとりについて、その能力及び特性を自覚させ、将来社会で自立できる人間を育てるために、次の3つを目標とする。

- ・良好な対人関係づくりを大切にし、思いやりの心や感謝する心を育む。
- ・進んで学ぶ態度を養う。
- ・身辺自立、基本的な生活習慣の確立、正しい判断力を育てる。

## (3) 学校及び学級の教育目標を達成するための基本方針

## ○ア 確かな学力の育成

学校生活支援シート、個別指導計画に基づき、生徒一人ひとりの特性に応じた学習指導や個別補充指導を行い、基礎的な知識及び技能、進んで学習する態度を育てる。また、朝読書、朝学習を毎日10分間実施し、すすんで読書する習慣や言語理解、語彙力をつける。

## イ 豊かな心の育成

学校行事や作業学習を通して、人との関わり方や社会生活における決まり、正しい判断力を身に付け、思いやりの心や豊かな心、感謝する心、いじめを許さない心を育てる。

## ウ 健やかな体の育成

健やかな体を育成するために、規則正しい生活リズムの形成や体力づくりに取り組む。

## エ 不登校生徒への支援

不登校生徒の要因や状態を把握し、生徒一人ひとりの支援ニーズに応じ、学習機会の確保や居場所(Motto)づくりを行うとともに、外部機関との連携も図り、生徒の社会的自立に向けた支援を行う。

## オ いじめ防止等の取組

人権の意義や重要性についての正しい知識を身に付け、人権への配慮が実際の行動や態度に表れる人権感覚を育成するとともに、個性を認め合い、安心して豊かな学校生活を送れるように、いじめを許さない心の醸成を図る。

## カ 特別支援教育の充実

通常の学級との交流及び共同学習を進め、お互いに理解を深め、豊かな人間性、多様性を認め合う心を育む。

## キ 小中一貫教育を充実【元八王子中学校グループ（元八王子小、式分方小）】

『社会的自立』を共通目標とし、全ての子どもたちに知・徳・体をバランスよく育成することで、次代を生き抜く 資質・能力を確実に身に付ける。

- 生涯にわたって学び続けるための基礎的な学力や自ら考え行動できる力をもった生徒
- 豊かな社会性や人間性、自己肯定感、自己有用感のある生徒
- 次代をたくましく生きるために、健康で体力がある生徒

## 2 指導の重点

### 各教科等

#### ア 各教科

- ① 分かる・できる授業のために、一人ひとりの特性や学習状況などの実態を見極め指導に活かす。特に国語科や数学科では読み書き・計算の反復学習を行い、更に、習熟度別のグループで授業を行うことで、基礎学力の定着を図る。
- ② 美術や職業・家庭は縦割りのグループ編成を取り入れる。学年間の学び合いをすることで、必要な力を身に付ける。さらに、ICT機器や1人1台の学習用端末を活用し、情報化社会への適応や視覚的に分かりやすい授業をすることや、学習コンテンツの活用を通して、生徒の学習への興味・関心を高める。
- ③ 知識及び技能が、日常の生活の場面に活かせるよう、物品の購入方法や公共交通機関の利用方法について、教科で指導を行い、体験的活動を通して将来の自立に向けて必要な力を身に付ける。
- ④ 「体づくり運動」の充実や体育祭、球技大会等行事の取組を通して体力の向上を図る。
- ⑤ 体験学習やグループ学習など、周りの人と共に考える活動を通して主体的・対話的で深い学びを充実させ、自分の意見や考えを伝える力や物事を多面的に捉える力を育てる。

#### イ 総合的な学習の時間

- ① 移動教室、校外学習等での体験学習やボランティア活動を通して、生徒一人ひとりがさまざまなことに興味・関心をもち、自ら考え行動しながら問題を解決しようとする力を育てる。
- ② グループワークや発表活動等で、生徒同士の意見交換等の機会を多く設定し、自らの考えを伝える能力の育成や、他者の考え方を理解する態度を養う。
- ③ 八王子の歴史や地理、自然などの身近な郷土学習に取り組み、郷土を愛する心を育て、日本遺産や文化、伝統の理解を深める学習を推進する。

#### ウ 特別活動

- ① 学級活動の立案から評価まで、生徒が主体的に企画運営し、他者との関わりの中でよりよく問題を解決しようとする態度を育てる。
- ② 移動教室や校外学習等の行事を通して、縦割り班による活動を取り入れて、自主的、実践的な態度の育成やよりよい人間関係の形成を図る。
- ③ 交流行事、部活動、委員会等における通常学級との共同学習を通して相互理解を図り、社会生活の意義や人との関わり方の重要性を理解させ、対人関係のルールとマナーを身に付けさせる。

#### エ 自立活動

- ① 挨拶、身だしなみ等日常生活の基本が確立できるよう家庭との連携、情報共有や学校生活支援シート、個別指導計画に基づきながら自立指導を行う。
- ② 一人ひとりに役割分担をもたせることで責任感を高め、生活に関する技能を向上させる。
- ③ 心身の機能の発達と心の健康について、授業でソーシャルスキルトレーニングを行い、日常生活で実践する力を育成する。

### (2) 「特別の教科 道徳」を要とする道徳教育

- ① 道徳教育の指導の重点として、互いを思いやる心や感謝の心の醸成を図る。道徳授業地区公開講座では、思いやりの心をテーマとし、授業を行う。さらに、講演会を通して、学校と家庭、地域が一体となって思いやりの心の育成について協議する。また、情報モラルへの理解と命を大切にする心の教育を推進する。
- ② 主たる教材である教科用図書を生徒の実態や学習状況に応じて使用するとともに、考え・議論する道徳や体験的な活動を計画的に取り入れることで、人との関わり方を育てる。
- ③ 個々の発達段階や特性等を考慮して指導し、職場体験活動や他の教育活動との関連を図る。

### (3) キャリア教育

- ① 「はちおうじっ子キャリアパスポート」を活用して生徒一人ひとりの理解につなげ、小中一貫教育を活用した個に応じた進路指導を行い、自己実現に向け肯定的自己理解と自己有用感の定着を図る。
- ② 地域資源を活用した職業講話や職場体験・ボランティア体験等の活動を通して、将来の生き方や進路について考え自己選択、自己決定する力をつける。
- ③ 生徒や保護者に向けて進路についてのさまざまな情報を提供し、進路選択、進路決定につなげていく。

## (4) 生活指導

## ア 生活指導

- ① 落ち着いた学校生活を送るために、学校生活のきまりを生徒会と協力して見直し、あいさつ運動やチャイム着席運動等を通して、挨拶や正しい言葉遣い等の基本的な生活習慣を身に付ける。
- ② 社会生活能力の育成を指導の基本に据え、あらゆる場面を通して身辺自立を図り、人とかかわり方や団行動等の基本的な社会のルールやT P Oの判断力を生徒の実態に合わせて身に付ける。
- ③ セーフティ教室を通して、情報モラルについて学び、情報機器の正しい利用方法を身に付ける。
- ④ 生徒が性犯罪・性暴力の加害者・被害者・傍観者にならないように、各教科において「生命(いのち)の安全教育」を具体的な事例等を用いて指導する。

## イ いじめ防止等の取組

- ① 「学校いじめ防止基本方針」に則り、人権教育に重点を置き、いじめの未然防止、早期発見・早期解決のために、いじめアンケートを6月、11月、2月に実施する。また、相談できる大人がいるようにするために、ふれあい月間として、7月、11月、12月に二者・三者面談を実施する。
- ② 学校いじめ対策委員会を週1回以上実施し、いじめの疑いがあるケースについても情報を共有し、対応策を検討する。緊急性の高い場合は、臨時に学校いじめ対策委員会を開催し対応する。また、毎週1時間、いじめ対応のための時間を設け、気になる生徒との面談、教員間での生徒の情報共有を行い、いじめを未然に防ぎ、早期に対応する。さらに、全学年において、いじめ防止に関する授業を年3回以上実施(第1学年対象にいじめ防止プログラムを実施)する。
- ③ メディアリテラシー教育や生徒会を中心に作成する SNS 学校ルールを通して、SNS 上でのいじめの防止に努める。
- ④ 全学年で、SOS の出し方に関する教育を実施し、信頼できる大人に助けを求められるようにする。
- ⑤ 6月の「八王子市いのちの大切さを共に考える日」に、生命の尊さに関する授業を行う。

## ウ 不登校生徒への支援等

- ① 不登校傾向等の生徒への支援を学年だけでなく、不登校対応巡回教員、校内別室指導支援員と連携し、不登校生徒対応の為に教室環境の整備も行い、学校として対応する。その際、個票システムを活用し、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとも連携する。さらに授業のオンライン配信や学習サポート、面談等を実施する。また、学校行事や授業の発表会等を、オンラインを活用して配信し、学校への所属感を高める。
- ② 生徒が安心して登校できるように、元八王子中学校グループ内で細かく情報共有をし、小中連携して支援ニーズを把握するとともに、新たな不登校生徒を生じさせないために、生徒の社会的自立に向けた支援を行う。

## (5) 学力保障の取組 (はちおうじっ子ミニマムの取組)

- ① はちおうじっ子ミニマムの結果等を分析し、生徒のつまずきの共有と対応策を検討し、個別最適な学びを充実させる。

## (6) 特色ある教育活動・その他の配慮事項

## ア 通常の学級、関係機関との交流

- ① 通常学級との交流活動は、朝礼や学年集会、委員会活動、校外学習、儀式的行事、学芸的行事、体育的行事への参加など個々の状況に応じて実施し、相互理解を図る。
- ② 学校生活支援シートや個別指導計画に基づいて、家庭と連携を取りながら、生徒一人ひとりにあった学習する力を身に付けるために学習用端末を活用し、家庭での学習に役立てる。

## イ 義務教育9年間を見通した小中一貫教育の取組

- (取組1) 児童会と生徒会の交流や各学校行事での交流等を通して、児童・生徒にとって、義務教育9年間の切れ目のない教育活動となるようにする。

(取組2) 『特別支援プロジェクトチーム』を設置し、児童・生徒の情報共有を行い、義務教育9年間で意識した支援や指導について検討する。また、特別支援教育に関する校内研修の相互参加を行う。

(取組3) 地域で行われる清掃活動について、児童会や生徒会を中心に参加を呼び掛ける。

## ウ その他

- ① 学習用端末の学習支援ツールの特性を理解し、使用場面の目的に応じて、ソフトを選択したり、組み合わせたりすることができる授業を展開する。また、調べ学習やプレゼンテーション等、学習用端末を活用した活動を日常的に取り入れる。
- ② 「八王子市の部活動改革」方針に則り、部活動の在り方を見直し、地域と連携した活動の充実を図るために、はちビバ(子ども・若者育成支援センター)や青少年対策地区委員会等と連携した情報発信を行う。
- ③ 「元八王子中学校2020レガシー」では、ボッチャ体験や障害者理解教育のために、地域との交流でポルック体験を行う。
- ④ 地域の一員としての自覚を高めるために、地域で行われる清掃活動等への参加や生活介護事業所の方々との交流を行うなど、通知表を通して、生徒の取組を評価する。

3 授業日数及び授業時数の配当

(1) 年間授業日数配当表

学年	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
1		16	19	22	14	3	20	21	19	20	15	19	18	206
2		18	19	22	14	3	20	21	19	20	15	19	18	208
3		18	19	22	14	3	20	21	19	20	15	19	15	205
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1学年は、入学式が4月8日（水）のため2日減。</li> <li>・ 第3学年は、卒業式が3月19日（金）のため3日減。</li> <li>・ 夏季休業日 7月21日（月）から8月26日（水）とする。</li> <li>・ 振替休業日を取らない土曜授業を設ける。 6月20日（土）、7月4日（土）、9月12日（土）、12月12日（土）、2月13日（土）</li> <li>・ 都民の日（10月1日）を授業日とする。</li> </ul>													

(2) 各教科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動、自立活動、各教科等を合わせた指導の年間授業時数配当表

ア 各教科（1単位時間は、50分とする。）

教科名		学年			
		1	2	3	
各教科	国語	0	0	0	
	社会	0	0	0	
	数学	0	0	0	
	理科	0	0	0	
	音楽	0	0	0	
	美術	0	0	0	
	保健体育	0	0	0	
	技術・家庭	0	0	0	
	外国語	0	0	0	
知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校の各教科	教科名	内容			
	国語	文字の読み書き、文章読解、会話、作文、手紙 書写、漢字、音読、訓読、発表、読書	140	140	140
	社会	地域、地理、歴史、防災、社会事情、東京都の歴史 日本の文化、世界の文化	35	35	35
	数学	数量の理解、四則計算、図形、時間、距離、金銭、月日	105	105	105
	理科	生き物「植物の生態・動物の行動」、季節「四季」、天候、自然観察、星座の基礎知識、実験	35	35	35
	音楽	歌唱、合唱、合奏、リズムに合わせ音を奏でる 音楽鑑賞	70	70	70
	美術	絵画を描く、鑑賞する、造形作品の制作 版画の制作	70	70	70
	保健体育	体感、補強運動、集団行動、体操、陸上競技、球技、 水泳、健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康	105	105	105
	職業・家庭	パソコン、データ入力、木工作業、金工作業、 植物栽培、織物染色、調理実習、手芸作業	140	140	140
	外国語	アルファベット、単語、日常生活に必要な英会話	35	35	35
小計		735	735	735	

イ 特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動、自立活動

領域	内容	学年	1	2	3
特別の教科 道徳	自主、節度、向上心、希望と勇気、創造、思いやり、礼儀、友情 相互理解、公德心、公正、公共の精神、勤労、家族愛、よりよい学校 生活、郷土を愛する態度、国を愛する態度、国際理解、生命の尊さ 自然愛護、感動、よりよく生きる喜び		35	35	35
総合的な学習の時間	福祉体験、地域交流（保育園）、 職業体験（職業講話・校内実習・職場体験）、郷土学習		70 (10)	70 (10)	70 (10)
特別活動	学級の組織づくり、生活目標、学年目標、班目標、 行動学習の事前・事後学習		35	35	35
自立活動	言語理解、身辺整理、コミュニケーション能力の向上 身体の調整力・巧緻性		0	0	0
小計			140 (10)	140 (10)	140 (10)

ウ 各教科等を合わせた指導

指導の形態	内容	学年	1	2	3
日常生活の指導	清掃、衣服の着脱、身だしなみ、食事、整理整頓 公衆衛生の指導		70	70	70
生活単元学習	体育祭、調理実習、交流会、校外学習、 スキー教室、お別れ会、		70	70	70
作業学習	手工芸、紙工芸、布工芸等		0	0	0
小計			140	140	140

エ 年間総授業時数（ア＋イ＋ウ）

学 年	1	2	3
年間総授業時数	1015 (10)	1015 (10)	1015 (10)

備考	<p>(ア) 1単位時間・・・50分とする。</p> <p>(イ) 特別活動（生徒会活動）・・・年間授業時数を35時間とする。</p> <p>(ウ) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選択教科・・・外国語は英語科を選択する。</li> <li>・自立活動は各教科、領域・教科において行う。</li> <li>・総合的な学習の時間の郷土学習及び進路学習の調査活動を、夏季休業中に10時間取り組む。</li> </ul> <p>第1学年では、郷土学習「郷土八王子を知る」に5時間、進路学習「職業調べ」に5時間                  第2学年では、郷土学習「八王子で実践できるSDGs」に5時間、進路学習「職場体験先事前調べ」に5時間                  第3学年では、郷土学習「八王子のよさを地域へ、未来へ」に5時間、進路学習「上級学校調べ」に5時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級独自の行事とその内容の取扱い</li> </ul> <p>① 校外学習・・・行事2時間、生活単元4時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多摩特研行事とその内容の取扱い</li> </ul> <p>① 球技大会・・・行事2時間、生活単元2時間、保健体育2時間                  ② 劇と音楽の会リハーサル・・・行事2時間、生活単元2時間、音楽2時間                  ③ 劇と音楽の会・・・行事2時間、生活単元2時間、音楽2時間</p>
----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------